

ごあいさつ



会長

森田 昇



理事長

平岡 治房

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より青梅信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫へのご理解を一層深めていただくために、「2021 Disclosure」を作成いたしました。当金庫の経営方針や業績、地域社会貢献活動への取り組みにつきましてご報告いたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2020年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延したことで、各国、感染防止対策が最優先となり、移動や経済活動の制限から日本における輸出入やインバウンド消費が大きく低下しました。金融業界におきましては、経済活動の停滞により影響を受けているお客様の資金繰りの円滑化に努めることが求められた1年でした。

このような経済環境のもと、当金庫では、新型コロナウイルス感染症への緊急経済対策である、実質無利子・無担保融資に積極的に取り組むとともに、中期経営計画の最終年度として様々な支援に努めてまいりました。その結果、預金量、融資量ともに前年度比で増加し、当期純利益2,370百万円、自己資本比率11.20%とさらなる経営体質の強化を図ることができました。これも偏に皆さま方の温かいご支援の賜物であり、役職員一同心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が開始されたものの、未だ終息の目処は立っておりません。今まで以上にお客さまの経営支援に特化して、地域経済の回復に努めてまいります。当金庫は2022年3月に創立100周年を迎えます。“おかげさまで100周年—「ありがとう」を未来へつなぐ—”をスローガンに掲げ、多大なる感謝の気持ちを胸に、これからも地域の産業の発展と豊かな暮らしの実現に貢献できるよう活動してまいります。

今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年7月



企業理念

わたしたちは、自然と文化に恵まれたこの地域とともにあって、
産業の発展と豊かなくらしの実現に貢献します。

あおしんの役職員全員は、地域金融の担い手として、事業活動を展開するエリアと共生し、この地域で事業展開する中小企業の成長・発展とここに生活する人々が求める豊かなくらしの実現を目指し、あおしんがお客さまに對してお役に立つことを宣言します。

経営方針

信頼

あおしんの経営は、何よりもお客さまの信頼を基盤にしており、それは、「この地域のお客さま」「ここに働く役職員」つまり青梅信用金庫を取り巻く人ととの関係を大切にすることであり、その基本となるコミュニケーションを大切にすることです。

中期経営計画

2020年度は、3ヵ年の中期経営計画「Always Challenging 2018–2020」の最終年度として、“地域と未来への架け橋”を基本方針に、地域社会の発展やお客さまの豊かなくらしの実現に努めてまいりました。

今後も創業の精神である“共存同榮”的実現を目指し、皆さまのご期待に応えられるよう積極的に取り組んでまいります。

重点課題

- 取引シェアの拡大
- 業務体制のスリム化
- 職員のプロ集団化

計数目標

	3ヵ年目標(2020年度末)	2020年度実績
自己資本比率	9.5%以上	11.20%
不良債権比率	4%台(4.99%)	3.19%
当期純利益	22億円	23億円

経営の基本
1

あおしんの
CSR(企業の社会的責任)活動
2~11

2020年度のトピックス
12

コーポレート・ガバナンス
(企業統治)の状況
13

あおしんが応援する
“美しい多摩川フォーラム”
14~15

会員の意見を反映する総代会
16~17

リスク管理とコンプライアンス
(法令等遵守)の態勢
18~19

2020年度 業績のご報告
20~25

主な業務のご案内
26~31

店舗ネットワーク
32~33

金庫の概況と組織に関する事項
34

資料編／財務諸表
35~49

資料編／連結情報
50~54

資料編／自己資本の充実の状況
55~67

開示項目一覧
68

沿革
69